

科目名		授業形態	担当教員名	
公衆衛生学		講義	小野 一男・井村 聡子	
時間数(単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (2 単位)		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
本科目では生活習慣病、環境問題および人口構造の変化による社会的な問題など現在の公衆衛生の課題について説明する。その中で、公衆衛生の基本的な考え方であるプライマリヘルスケア（PHC）やヘルスプロモーション（HP）の概念を学ぶと共に、地域社会住民や施設集団におけるセルフケアの重要性と医療従事者の役割を考察する。 また、医療従事者にとって重要な感染症を重点的に学習し、感染症の基礎知識および感染制御の技術の習得、感染症に対して速やかに専門的判断と対応ができるよう能力を養う。				
授業の到達目標				
現在の公衆衛生の問題について、理解し、自身の意見を述べるができるようになる。 また、医療従事者としての感染症の知識および予防対策をしっかりと習得できるようになる。				
授業計画				
回	内容			
1	健康の概念と公衆衛生学			
2	人口統計			
3	保健統計			
4	地域保健			
5	疫学			
6	母子保健・学校保健			
7	成人保健			
8	高齢者保健			
9	感染症（1）基礎知識			
10	感染症（2）感染予防とその対策			
11	感染症（3）主な病原微生物			
12	環境保健			
13	精神保健・産業保健			
14	社会保障と社会福祉			
15	国際保健			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	70%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他	30%			
自由記載	評価は筆記試験（70%）およびその他【①発表、②課題提出、③受講態度】（30%）により評価を行う。筆記試験は得られた得点で評価する。 その他は①発表は授業中に実施する発表の内容、②課題提出はレポートなどの提出物の内容、③受講態度は、私語やスマートフォンなどの機器類の使用に関し特に悪いと判断した場合に評価を下げる。			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
よくわかる専門基礎講座 公衆衛生 第16版		松木秀明 編	金原出版	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				